

同志社オリジナル賛美歌が完成しました

園児から学生、卒業生までと一緒に歌うことができる同志社独自の賛美歌を制作しました。

歌詞は公募を行い、応募のあった69作品から同志社大学商学部2年次生(当時)の堀之内涼さんの作品が選ばれ、作曲を同志社女子大学学芸学部音楽学科の成田和子教授にお願いしました。11月29日のDoshisha New Dayで受賞者の表彰式と歌の披露をしました。

歌と歌詞・楽譜は右記の二次元コードからご覧いただけます。



同志社オリジナル賛美歌表彰者



作詞者:堀之内涼氏(同志社大学2年次生)【左】
 作曲者:成田和子 教授(同志社女子大学学芸学部音楽学科)【右】

同志社オリジナル賛美歌 表彰者一覧
(敬称略・2022年11月時点)

表彰	氏名	学部・学年・卒業年など
最優秀賞	堀之内 涼	同志社大学 商学部2年次生
優秀賞	永谷 茶門	同志社大学 大学院生命医学研究科 博士課程前期課程 1年次生
優秀賞	鳥井 新平	2022年同志社大学大学院 神学研究科 博士課程前期課程修了
優秀賞	山崎 ひな	2013年同志社大学 神学部卒業
特別賞	加藤 春音	同志社女子中学校3年生
特別賞	吉川 瑠美	同志社国際学院 初等部5年生

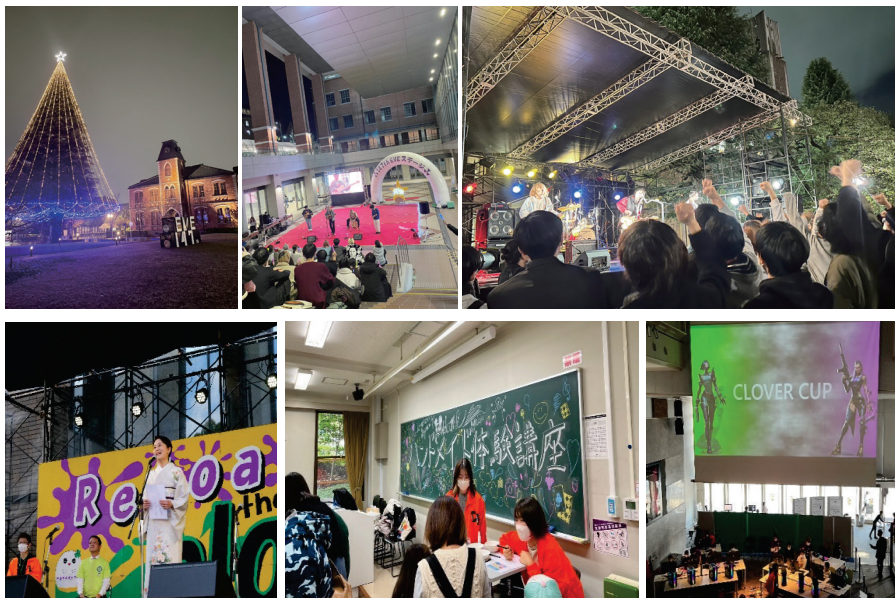
3年ぶりの対面開催
147th TO BE DOSHISHA EVE ~翔べ同志社EVE~
Reload the clover 第18回 同志社クローバー祭

同志社 EVE は、11月29日の同志社大学創立記念日を祝う行事として、同志社クローバー祭は大学と地域が連携を強めることを目的として、毎年11月に開催されている行事です。どちらも全て同志社大学の学生の手によって企画・運営されています。

新型コロナウイルスが猛威を振るいだした2020年以降、オンラインのみでの開催を余儀なくされていましたが、今年はずいぶん対面での開催が3年ぶりに実現しました。

今年の同志社EVEのテーマ「TO BE Doshisha EVE~翔べ 同志社EVE~」、クローバー祭のテーマは「Reload the clover」。EVEのテーマには学生がいてこそEVEに「なる」の「To Be」と同志社EVEに関わった全学生が飛躍してほしいという思いが込められています。クローバー祭のテーマには、コロナ禍以前のクローバー祭を“再読み込み”し、学生・教職員・市民が関わり合う、活気あふれる同志社クローバー祭を作り上げたいという願いが込められています。

同志社EVEは感染症対策のため、来場者は在学生、同志社女子大学生、在学生保護者、近隣住民の方に制限しました。同志社EVEは11月26日(土)~28日(月)の3日間で、延べ9,461人に、クローバー祭は1日最大2,500人に制限し、11月5日(土)~6日(日)の2日で約5,000人が来場しました。



『まちづくり委員会』～学生による地域連携活動～

大学の立地する京田辺市及び周辺地域を学生が「第二のふるさと」として自慢できる街になるようにと設立された任意団体で、学生が主体的に様々な活動に取り組んでいます。設立5年を迎えた2022年度は高齢者施設とのオンライン交流会、小学生との手紙交換を通じた交流、地元サッカークラブとコラボしての運動会開催、市特産のお茶を使ったフレーバーティー、洋菓子「Tanabeffle～タナベッフル」開発などに取り組みました。



オンライン交流会



京田辺ふれんずプロジェクト



マッチャモーレ京都山城と共催し、「秋の大運動会」を開催



タナベッフルをキャンパス内イベントにて販売

「プロジェクションマッピング in 同志社今出川キャンパス」

11月22日、中学生がiPadでさまざまな工夫を凝らして制作したプロジェクション・マッピングが同志社今出川キャンパスの良心館と彰栄館に投影され、中高生・大学生・教職員をはじめ多くの市民の方々にご覧いただきました。
(テーマは「キリスト降誕」と「同志社の歴史」でした。)



世界時計除幕式

11月5日土曜日、香里中高では文化祭を開催しました。その中でPTA会長、同窓会（紫翠会）会長、紫香会（PTAの同窓会）会長を招き、校長、生徒会、生徒自治会の役員参加の下、除幕式を行いました。世界時計は2022年4月に竣工した繋真館で、グローバル教育を想像させるシンボルとなるように上記三会からのご寄付で設置いたしました。時計上部には、ヨハネによる福音書第8章32節「真理はあなたたちを自由にする。（新共同訳）」と刻印されています。生徒たちの学習の中心となる繋真館、その中で世界への視野を広げて羽ばたいてくれるよう祈ります。



「天体観望会」

11月8日に本校希望館屋上で天体観望会を行いました。例年は半月の頃に計画するのですが、今年は皆既月食があるので満月の夜にしました。はじめは月が雲に隠されていましたが、次第に晴れて皆既月食の赤い月が見られました。他にも望遠鏡で木星や土星を見ました。この日は天王星食もありましたが、帰宅時間が遅くならないよう、その時間までに解散しました。



高校生 体育祭

9月16日、組毎のテーマカラーを決めて様々な競技を行いました。晴天の中、クラス対抗の9種の競技、学年毎の創作マスゲームの発表、部活動対抗のリレー、応援合戦、3年生のチアの発表などが実施されました。



文化祭

9月24日、3年ぶりに保護者やご家族をお迎えしての文化祭でした。感染症対策の一つとして人数の制限を設けましたが、当日は、クラスや文科系クラブの展示に加え、ダンス部の発表、タレントショー、バンド祭と多くのイベントが実施され、活気に満ちた1日となりました。





初等部:「3年生初めての宿泊学習」

9月15日～16日、3年生は、入学して初めての宿泊学習で奈良県川上村の「匠の聚(むら)」を訪問しました。コロナ禍のため、1、2年生と宿泊学習が実施できなかった子どもたちは、1泊2日の短い宿泊体験でしたが、楽しい時間を過ごしました。UOI(探究の単元)のテーマ“How (We) Express Ourselves”の学びを深めるため、「陶芸・木工クラフト・墨絵」のWork Shopを通じて個性を発揮することに取り組みました。また、川上村在住の日本画の作家さん・一刀彫の作家さんより、直接お話を伺い、インタビューしました。それぞれの作家さんから、制作に懸ける情熱や個性的な考えを感じ取っていました。

この宿泊学習を通じて子どもたち自身がこの学習単元で取り組むサマティブアセスメントで自分たちの気持ちをいかに表現するかという学びに活かしてくれることを期待しています。



国際部:DISK supporting local communities



This term, DISK continues to extend support to local communities. Grade 6 and 11 students continue to support Yamashiro school for the physically challenged children. A dedicated learning session where DISK students continued to share their learning and helped the students of Yamashiro school to enrich with fun activities. (October 2022)



同志社小学校

Doshisha Elementary School

Sports Festival

10月11日、Sports Festival が快晴の空のもと開催されました。新型コロナウイルス感染症流行の影響により中断していた保護者観覧を再開し、元気いっぱいの子供たちが躍動する姿をご家族に直接見ていただくことができました。子供たちは保護者の応援を受けながらDavis号、Hardy号、Learned号それぞれが一致団結して優勝を目指し全力で取り組み、児童ひとりひとりが助け合い、励ましあい、支えあいながら精一杯やりぬくことができました。



《かまどを使ってバーベキュー(お楽しみ会)》

幼稚園では、園庭にある“かまど”を使って、バーベキューや焼き芋をしています。時には、お散歩に出かけて火を熾すために木の枝や葉を集めて乾かしたり、食材を近隣のお店へ買いに行ったりします。子どもたちにとっては、準備も楽しい時間です。

バーベキューでは、火がついてもなかなか燃えなかったり、待っても待っても火が通らなかったり…。けむりの量や臭いにも驚いて歓声が上がります。何でもすぐに手が入る時代に、思うようにいかないことや初めての経験が、子ども達にとっては新鮮だったようです。

行事だけでなく、その過程も十分に楽しみ、ホカホカの野菜やお肉を口にした子ども達。「世界で一番美味しい！」と何度もおかわりしたり、苦手なお野菜を口に入っている子もいました。



《収穫感謝祭》

11月16日(水)に収穫感謝祭の礼拝をしました。子どもたちが各家庭から野菜や果物を持ち寄り、一人ひとりがホールに捧げました。その後の礼拝では、ホールに集い、野菜や果物を前に聖話を聞き、神様が私たちを守り、豊かな恵みを与えてくださったことに感謝の気持ちを込めて、全員でお祈りを捧げました。

